

# TWL ペアレンタルコントロール仕様案

Version 0.2

任天堂株式会社発行

このドキュメントの内容は、機密情報であるため、  
厳重な取り扱い、管理を行ってください。

## 目次

1	はじめに .....	5
1.1	この文書の目的 .....	5
1.2	前提知識 .....	5
1.2.1	3種類のソフト .....	5
1.2.2	リージョンコード .....	6
1.2.3	ランチャー .....	7
1.3	基本的な方針 .....	8
1.4	以降の章について .....	9
2	TWLペアレンタルコントロール機能 .....	10
2.1	TWLペアレンタルコントロール機能の目的と対応方針 .....	10
2.2	機能一覧 .....	10
2.3	サービスの制限 / 解除のための保護者認証 .....	11
2.3.1	暗証番号の設定 .....	11
2.3.2	秘密の質問の設定 .....	11
2.3.3	サービスの設定変更・制限解除時の保護者による入力 .....	12
2.4	ペアレンタルコントロール機能の利用により制限される機能 .....	12
2.5	本体リージョン・国設定による差異 .....	12
3	起動制限 .....	14
3.1	概要 .....	14
3.2	レーティング起動制限 .....	14
3.3	ソフト別起動制限 .....	16
3.3.1	ソフト別起動制限をかけないソフト .....	16
3.3.2	ピクトチャット .....	16
3.3.3	ダウンロードプレイ .....	16
3.4	設定方法 .....	17
4	TWLショッピングソフト .....	18
4.1	ポイント購入 .....	18
4.2	ポイント使用 .....	18
4.3	ソフトの表示と販売 .....	18
4.4	お知らせ表示 .....	18
5	ユーザー間通信 .....	20
5.1	ユーザー間通信とは .....	20
5.2	安全なユーザー間通信 .....	20
5.3	制限可能なユーザー間通信 .....	20
5.3.1	インターネットを介したユーザー同士の通信 .....	21

5.3.2	すれ違い通信 .....	21
6	ホットスポットソフト .....	22
6.1	ホットスポットソフト概要 .....	22
6.2	体験版配信 .....	22
6.3	店舗サービス(仮称) .....	22
7	お知らせフラグ .....	24
8	フルブラウザ.....	25
9	運用.....	26
10	秘密の質問の差し替え候補 .....	27
10.1	家族情報 .....	27
10.2	ペット .....	27
10.3	過去 .....	27
10.4	趣味 / 嗜好 .....	27
10.5	願望 .....	27

## 改訂履歴

版	改訂日	改 訂 内 容
0.2	2008/01/11	<ul style="list-style-type: none"><li>誤記の修正および説明文の表現変更</li><li>『2.3.3 』のロック状態という理解が誤っていたため、説明を修正</li><li>『2.3.4 マスターキーによるロック状態解除』を削除</li><li>『2.4 』のペアレンタルコントロール設定初期化について内容を確認して反映。制限される項目に区に選択を追加。</li><li>『3.3 』の「ゲームタイトル毎に起動制限を」という表現を「ソフト毎に起動制限を」に修正</li><li>『5.2 』の「インターネット（WiiConnect24）」という表現を「インターネット（WiiConnect24やWiFi Connectionなど）」に修正。また、「ユーザーが作成したコンテンツの送受信」を「Wiiフレンド同士のメッセージ送受信」に修正。</li><li>ホットスポットソフトの章に章番号がなかったので追加</li></ul>
0.1	2008/01/08	初版

# 1 はじめに

## 1.1 この文書の目的

この文書では、NCL 開発部門および NCL 総務部が検討した TWL のペアレンタルコントロール仕様案を説明します。想定する対象読者は NOA Legal 部門、NOE Legal 部門のメンバーであり、仕様案に対するフィードバックをいただきたいと考えています。フィードバックされた意見を基に、本仕様案を改訂し、最終的な TWL ペアレンタルコントロール仕様を確定いたします。

現在、TWL 向けの説明資料はあまり存在しないため、対象読者が TWL のペアレンタルコントロールを理解できるための前提知識は網羅できるように記載しています。これは別資料で説明したほうが良い、冗長だと感じる方もおられると思いますがご容赦ください。

NCL 内で意見調整中などの未決定項目については、**【検討中】**もしくは**赤字**で記載しますので、それを踏まえてお読み下さい。

## 1.2 前提知識

### 1.2.1 3 種類のソフト

TWL では、以下に示す 3 種類のソフトが動作します。

名称	DS 本体での挙動	TWL 本体での挙動	注意事項
1. DS 専用ソフト	動作する DS 機能を使用	動作する DS 機能を使用	TWL 本体で遊んでも、DS と全く同じ挙動。
2. TWL 対応ソフト	動作する DS 機能を使用	動作する DS 機能に加えて、TWL 拡張機能も使用できる	DS 本体で遊ぶ場合と、TWL 本体で遊ぶ場合で、同じ ROM カードなのに挙動が変わる。
3. TWL 専用ソフト	動作しない DS 本体に刺さるが、起動すると「DS 本体では動作しません」のような表示がでる。	動作する DS 機能に加えて、TWL 拡張機能も使用できる	2 種類の販売方法が考えられる。 1 つ目は TWL ショッピングアプリで販売。ソフトは本体内蔵 NAND へインストールされる。 2 つ目はパッケージ販売。この場合、TWL 本体を持っていないユーザーが間違えて購入しないような、パッケージにしなければならない。

TWL 対応ソフトであれば、TWL 本体に挿した時だけ以下のような TWL 拡張機能が使用できます。拡張機能はメイン CPU (ARM9) 倍速駆動なども含め全ての TWL 機能を使っても、1 機能 (例えばカメラ) だけ使うという使い方も可能で、開発者が柔軟に機能を選択可能です。

- カメラで画像が撮影できて、マリオカートのフラッグなどのアイコンに使える
- 高速・低消費電力の TWL 無線を利用して WiFi 接続できる

- メイン CPU (ARM9) を倍速 (134MHz) 駆動して敵の思考ルーチンを高速化できる

## 1.2.2 リージョンコード

TWL 本体には生産時に書き込まれ、ユーザーからは変更できないリージョン (仕向け地) コードが含まれます。リージョンコードは下記項目に影響を与えます。

- 起動制限

Wii や GameCube 同様、TWL のソフトはリージョンによる起動制限がかかります。TWL のソフトとは TWL 対応ソフトおよびに TWL 専用ソフトを示します。ソフトと TWL 本体のリージョンが異なる場合、そのソフトは起動できません。**(確定ではないが、おそらくソフト自体にリージョンの概念は入りそう)**

DS 本体にはリージョンがないため、どのリージョンの TWL 対応ソフトでも起動します。

- 国設定

Wii 同様、リージョンでカバーされる国リストからユーザーが選択します。ユーザーはリージョン内であれば国設定を誤って設定したり、意図的に別の国設定ができてしまいます (以降、これらの設定を「不適切な国設定」と呼びます)。居住している国とは異なる国が設定された場合、その国での法律にそぐわない挙動になってしまいますが、TWL 本体はユーザーの設定ミスや意図的な別の国設定を防ぐことはできません。これらはユーザーの運用上の (解決不能な) 問題と言えます。

一方、TWL 本体システムの観点から見ると、バグや例外的な動作は防がなければなりません。TWL 本体、ゲームソフトおよびサービスを行う各種サーバーは全て (ユーザーによる改変が不可能な) リージョンで整合性をとっているため、ユーザーのミスや意図的な行為によってこの整合性が崩されることはありません。

国設定に連動して処理が変わる項目は以下の3つです。

### 1. TWL ショッピングアプリの接続先 URL or TWL ショッピングアプリがサーバーへ送信する国設定 (URL が変わるのか、URL は同じで国設定情報を追加で送るのかは確認中)

ユーザーは居住している国をリージョン外から設定できないため、TWL ショッピングアプリの接続先 URL は必ず該当リージョン向けショップサーバーになります。そのショップサーバーで購入・インストールできるソフトは必ず該当リージョン向けであるため、システムの整合性が保証されます。

ショップサーバーへ送信する国設定によって、ショップサーバーは販売タイトル表示を変更します。具体的には、国により採用しているレーティング審査団体が異なるため、ユーザーには設定されている国向けの審査マークを表示します。ユーザーが不適切な国設定 (例: 本来イタリアを設定するべきなのに、イギリス設定) をしていた場合、本来表示すべき審査マーク (PEGI) とは異なるマーク (BBFC) が表示されることが考えられます (たまたま同一なこともあります)。これは先に述べたユーザーの運用上の問題に該当します。

### 2. EULA 文言

EULA 表示文言として対応すべき公用語が国によって異なります。EULA データを配信するサーバーが国コードを TWL から受け取り、適切な文言表示を行います。

ユーザーが不適切な国設定をしていた場合、本来選択可能な言語が選択できない、(もし国独自の文言が盛り込まれた場合) 居住国でサービスを受けるために同意すべき文言が表示されない、などの不都合が想定されます。これも先に述べたユーザーの運用上の問題に該当します。

### 3. レーティング審査団体

国によって採用しているレーティング審査団体が異なるため、ペアレンタルコントロール設定でレーティングマークによる起動制限を設定する場合、選択可能なマークが変わります。レーティング審査団体と選択可能なマークについては後述します。

ユーザーが不適切な国設定 (例: イギリス) をしていた場合、居住国 (例: イタリア) が採用しているもの (PEGI) と

は異なる審査マーク(BBFC)での起動制限を設定可能です。基本的に全てのTWLソフトは、該当リージョンで使われる全てのレーティング審査団体からレーティング値を取得することになるため、不適切な国設定をしたとしてもペアレンタルコントロール機能を使うことは可能です。もちろん、このような使われ方は想定外です。

- 言語設定

DS では基本的に全世界共通の IPL で、日本語、英語、仏語、西語、独語、伊語すべて選択できましたが、TWL システムメニューで表示する言語は、リージョンごとに選択可能な言語が変わります。以下の表を参照。

リージョンコード	言語1	言語2	言語3	言語4	言語5
JP(日本)	日本語				
US(北米)	アメリカ英語	アメリカ仏語	アメリカ西語		
EU(欧州)	英語	仏語	西語	独語	伊語
AU(豪州)	英語				
CH(中国)	中国語				
KR(韓国)	韓国語				

### 1.2.3 ランチャー

ランチャーとは、TWL に電源を入れた後、「健康と安全について」の警告文に続いて表示される画面 / 機能です。下画面に、インストールされているソフトや DS ゲームカードのソフトがリスト表示されます。ユーザーはソフトのアイコンを選択することでソフトを起動します。その他の機能もありますが、ソフトの表示と起動を行うプログラムと言えます。

本体設定もソフトの 1 つとしてランチャーから起動することができます。



図 1 ランチャー画面

### 1.3 基本的な方針

TWL のペアレンタルコントロールの基本方針を以下に示します。

- TWL 拡張機能を使うサービスはペアレンタルコントロール対象
- DS 機能のみを使うサービスはペアレンタルコントロール対象としない

この基本方針が決められた理由は以下の 2 つです。

1. DS 専用ソフトにペアレンタルコントロール情報が格納されていない  
2004 年から、これまでに販売された膨大な数の DS 専用ソフトにはペアレンタルコントロール情報(レーティング情報)が格納されていません。またレーティング情報はパッケージにしか印刷されないため、レーティング審査中に ROM 出しすることが可能です。  
現在開発中、および今後開発される DS 専用ソフトに対してレーティング情報格納を義務付けるように運用を変えるには、サードパーティ向けの状況説明や開発ツール提供などを含め、対応コストが高くなります。これまでにリリースされた DS 専用ソフトが対応できない状況で、高いコストを投入して今ある運用を変えることはしません。
2. DS 本体の IPL にはペアレンタルコントロール機能が搭載されていない  
DS 本体の IPL にはペアレンタルコントロール機能(のレーティング起動チェック)が搭載されていないため、レーティング情報が格納されたソフトが仮にリリースされても、起動制限をかけることはできません。これまでに販売された DS 本体では対応できないため、TWL 拡張機能を使わない DS 機能についてはペアレンタルコントロール機能対応しません。



## 1.4 以降の章について

---

第 2 章で TWL ペアレンタルコントロール機能の全体像を概説します。第 3 章以降は、TWL の各種サービス・機能についてのペアレンタルコントロール機能を各章1つずつ取り上げて説明します。

## 2 TWLペアレンタルコントロール機能

### 2.1 TWLペアレンタルコントロール機能の目的と対応方針

欧州および米国ではビデオゲームへの規制導入の流れがあり、ペアレンタルコントロールが法的義務化される可能性があるようです。法的規制がないにせよ、Wii の開発時より、北米では消費者のニーズとしてペアレンタルコントロール機能搭載が望まれており、ビデオゲーム業界も対応の方向で進んでいる社会状況になっています (NOA からの報告より)。このような状況のもと、企業の社会的責任 (CSR) を重視する任天堂として 2005 年リリースの Wii にペアレンタルコントロール機能を搭載しました。下位互換機の DS にはペアレンタルコントロール機能非搭載ですが、PS3、Xbox360 に加え、2004 年リリースの PSP でもペアレンタルコントロール対応しているという状況もあり、TWL でのペアレンタルコントロール機能搭載が決まりました。

TWL でのペアレンタルコントロール対応方針は以下のとおりです。

- 機能を使いたい人は使えるが、必要性のない人にわずらわしさを感じさせない  
この理由により、デフォルトではペアレンタルコントロール機能をオフにします。機能を利用したい保護者は本体設定から設定を行うことができます。
- リッチな機能は盛り込まないが、基本的にサービスの起動・利用制限をかけることができるようにする  
様々な利用履歴を本体に記録し見やすく表示したり、一日の利用時間を制限可能にするなどのリッチな機能は本体機能を複雑にし、ユーザーが項目設定することの煩雑さを増すことになるため搭載しません。これらの機能は、他者からの悪意のある干渉や、子供には不適切な体験 (暴力的あるいは性的な行動、画面表示) から被保護者を守るための本質的な機能ではないため、あくまで付加的な「リッチな機能」だと言えます。これらは保護者と被保護者の間の約束事などでカバー可能な事柄だと考えています。  
不適切なレーティングのゲームの起動、Web サイト閲覧のためのフルブラウザの起動、ユーザーが自由に作成可能な画像などのコンテンツのやりとり、お金の使用に繋がるポイントの利用、などの直接子供に被害が及ぶ可能性のあるサービスについては制限をかけるという方針です。
- ソフト独自の制限はソフト内で設定・対応する。本体設定はソフトから読めるようにしておく  
今後リリースされるソフトがどのようなサービスを行うか全て予測するのは不可能です。そのため、今後新たにペアレンタルコントロールの対象とするサービスについて予め本体側で機能を全て持っておくことは不可能です。そのようなサービスはソフト固有のサービスであること、そして、システムメニューの更新にはソフトの互換性検証など多大な開発コストがかかること、を考えると、そのようなサービスについてはソフト内でペアレンタルコントロール設定・対応するのが良いと検討の結果、判断しました。  
例えばフルブラウザであれば、起動制限は本体設定で行いますが、ホワイトリスト・ブラックリストといったアクセス制限などのソフト固有の制限は、ソフト内で設定することになります。(注意:フルブラウザのペアレンタルコントロール機能については検討中です。ホワイトリスト・ブラックリスト機能をサポートすることが決まっているわけではありません。)

### 2.2 機能一覧

ペアレンタルコントロール機能で制限可能な項目リストとその説明箇所を以下に示します。

- ソフトの起動制限  
レーティングによる制限、個別のソフトの制限など、詳細は3章で説明します。

- TWLショッピングソフトのサービス制限  
ポイントの使用制限など、詳細は4章で説明します。
- ユーザー間通信の制限  
WiFiを利用した通信やすれ違い通信の制限など、詳細は5章で説明します。
- ホットスポットソフトの制限  
任天堂スポット(仮)で可能なWebサイト閲覧の制限など、詳細は0章で説明します。
- お知らせフラグの制限  
お知らせフラグで制限することは特にありません。6章で説明します。
- フルブラウザの制限  
フルブラウザのソフト内でのフィルタリング機能などについて、詳細は7章で説明します。

TWL で提供しない機能は以下のとおりです。

- コンテンツ利用履歴の保存や表示
- TWL 利用可能時間制限

## 2.3 サービスの制限 / 解除のための保護者認証

ペアレンタルコントロール機能の設定・解除など変更を行う際に、操作しているユーザーが被保護者ではなく、保護者であることを認証する必要があります。この保護者認証の仕組みについては、Wii と同じ枠組みを適用します。つまり、暗証番号による認証、秘密の質問による暗証番号忘れ対策、マスターキー提供による任天堂ユーザーサポートです。

### 2.3.1 暗証番号の設定

暗証番号は Wii 同様に4桁の数字です。0000 ~ 9999 までの1万とりの設定が可能です。

設定時にはユーザーの入力ミスを防ぐため、入力している数値をアスタリスク表示で隠すことはせず、数値をそのまま画面に表示します。4桁の数字なので暗証番号入力についてはアスタリスク表示で隠しても設定可能かもしれませんが、解除コードを隠すという意味では、合わせて秘密の質問の答えも入力時にアスタリスク表示する必要があります。秘密の質問の答え入力はアスタリスク表示では難しいと思われるので、どちらも入力文字列を見ながら設定できるようにします。

### 2.3.2 秘密の質問の設定

秘密の質問は Wii 同様に6種類の質問から1つ選択した後、6 ~ 64 文字(日本版は、ひらがなカタカナで 3 ~ 32 文字)の任意の文字列で回答を入力することで設定します。

秘密の質問の必要性についてですが、暗証番号忘れによる問い合わせ電話の件数を現状レベルに維持するということを考えると、暗証番号だけではなく、Wii と同様に秘密の質問機能を搭載するほうが良いだろうと NCL で判断しました。

質問文については、基本的にWiiと同じ文を利用しますが、回答文が極端に類推しやすいような質問文については差し替えることを検討しています。差し替え候補を『9 秘密の質問の差し替え候補』に示します。本体リージョン毎に質問文が異なっても問題はないため(Wiiではある程度合わせてあるが、完全に同じではない)、NCL、NOA、NOE、NAL の判断で質問文を独自に用意するということを考えています。問題なければ Wii と全く同一にするというスタンスでも構いません。

### 2.3.3 サービスの設定変更・制限解除時の保護者による入力

保護者はペアレンタルコントロールの設定変更および制限解除が可能です。ユーザーが保護者であることを認証するため、TWL では暗証番号の入力を求めます。入力された暗証番号が設定されているものと一致したら、設定変更および制限解除が可能です。ユーザーが 3 回連続で誤った番号を入力するか、暗証番号を忘れてしまったときには、秘密の質問の回答を入力するよう求めます。設定した回答を入力できたら、暗証番号と同様に設定変更および制限解除が可能です。ユーザーが 3 回連続で誤った回答をした場合、または秘密の質問の回答を忘れてしまった場合、TWL はマスターキーによる制限解除画面へ移り、8 桁のお問い合わせ番号を表示します。ユーザーは取扱説明書に記載されているサポート窓口へ電話をかけ、8 桁のお問い合わせ番号を伝えることで、サポート窓口よりマスターキーを教えてもらいます。マスターキーを入力することで、ユーザーは暗証番号および秘密の質問の回答を忘れてしまった場合でも、ペアレンタルコントロール設定変更が可能です。

(HW リセットボタンする、電源を切る、秘密の質問の入力画面をキャンセルする、などで番号入力回数はクリアされます。例えば、暗証番号を 3 回間違え、秘密の質問の回答を 2 回間違えた状態で本体電源を切ると、もう一度暗証番号入力からトライできます。マスターキーによる制限解除画面で HW リセットや電源を切った場合も同様です。)

Wii の仕組みと同一の仕組みにすることを考えています。

## 2.4 ペアレンタルコントロール機能の利用により制限される機能

各項目の設定内容に関わらず、ペアレンタルコントロール機能を ON にすることで、以下の機能が制限されてしまうことに注意して下さい。

- インターネット設定変更  
子供が設定するには難しいため設定自体する必要がないため、また、おかしな設定に変更されてしまうことを防ぐため、設定変更ができないように自動でロックがかかります。保護者は、暗証番号を入力することで一時的に制限を解除し、インターネット設定を変更することが可能です。
- 本体更新  
ペアレンタルコントロール機能を変更するような本体更新であれば、ペアレンタルコントロール設定が初期化されてしまうことが考えられます(通常は本体更新では解除されません)。そのため、ペアレンタルコントロール機能が利用されている場合、本体更新ができなくなります。保護者は、暗証番号を入力することで一時的に制限を解除し、本体更新することが可能です。
- 本体初期化  
本体初期化によりペアレンタルコントロール設定が初期化されてしまいます。そのため、ペアレンタルコントロール機能が利用されている場合、本体初期化ができなくなります。保護者は、暗証番号を入力することで一時的に制限を解除し、本体初期化することが可能です。
- 国選択  
国選択を変更することで、ペアレンタルコントロール設定が初期化されてしまいます。これはレーティング基準が異なる国への変更であろうと同じ基準の国であろうと同じ挙動です。そのため、ペアレンタルコントロール機能が利用されている場合、本体初期化ができなくなります。保護者は、暗証番号を入力することで一時的に制限を解除し、本体初期化することが可能です。

## 2.5 本体リージョン・国設定による差異

本体リージョンによる直接的なペアレンタルコントロール機能の差異はありません。国設定によるペアレンタルコントロール機能の差異は以下の 2 点です。(本体リージョンにより選択可能な国設定が変わるため、本体リージョンは間接的に

差異を生んでいると考えることはできません)

- レーティング審査団体  
レーティング値による起動制限をかける場合、国設定によってレーティングの種類が異なる場合があります。これは各国の公式審査団体が異なる場合があるためです。
- サポート窓口  
マスターキー発行のためのサポート窓口が国によって異なります。そのため、サポート窓口の電話番号が異なります。電話番号については本体の説明書に記載します (Wii では日本版だけ電話番号表示していました)。

## 3 起動制限

### 3.1 概要

被保護者がランチャー画面でソフトを選択しても起動しないように、保護者はソフトの起動制限をかけることが可能です。

TWL の起動制限には 2 種類あります。1 つ目がレーティング値による起動制限で、以降「レーティング起動制限」と呼びます。2 つ目はレーティング非取得ソフトの起動制限です。非取得ソフトは起動制限をかけられるソフトとかけられないソフトがあります。非取得ソフトの起動制限機能のことを、以降「ソフト別起動制限」と呼びます。

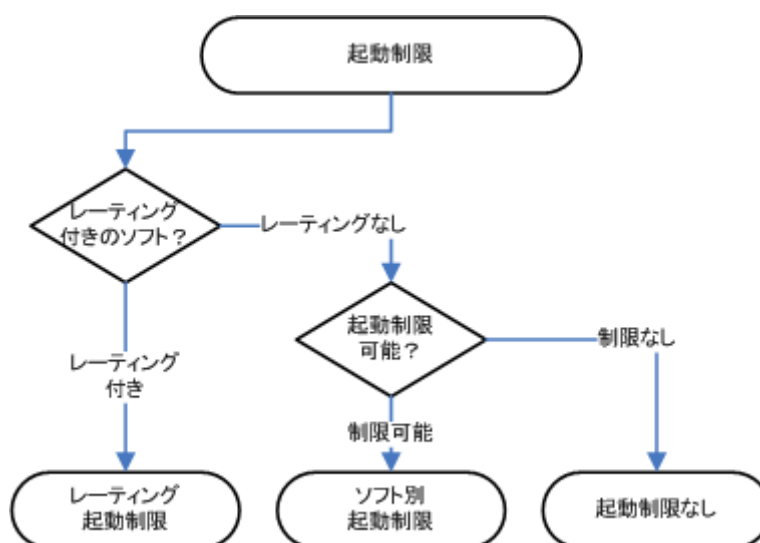







図 2 ソフト起動制限






### 3.2 レーティング起動制限

Wii 同様、基本的にゲームソフトは全てレーティング値を取得してもらうことになります。NAND ソフト、カードソフトのどちらにせよ、ソフト(ソフトのヘッダ領域)にレーティング情報が埋め込まれます。具体的なレーティング値については、以下の図を参照して下さい。

CERO/日本					
レーティング区分	 18歳以上のみ	 17歳以上	 15歳以上	 12歳以上	 全年齢
その他	 教育・データベースは年齢区分なし(ペアレンタルコントロール設定上は「全年齢」と同じ扱い)				

ESRB/米国					
レーティング区分	 17歳以上	 13歳以上	 10歳以上	 6歳以上	 3歳以上
その他	 成人向け NOAは成人向けレーティングのソフトをライセンスしない(Wiiでは)				

PEGI/欧州一般					
レーティング区分	 18歳以上	 16歳以上	 12歳以上	 7歳以上	 3歳以上

PEGI/ポルトガル					
レーティング区分	 18歳以上	 16歳以上	 12歳以上	 6歳以上	 4歳以上

USK/ドイツ					
レーティング区分	 18歳以上	 16歳以上	 12歳以上	 7歳以上	 全年齢

BBFC/イギリス					
レーティング区分	 18歳以上のみ	 15歳以上	 12歳以上	 8歳以上	 4歳以上
その他	イギリスでは基本的にはPEGIが適用されます。但し、PEGIで高いレーティング(16+と18+)を受けた場合のみ、BBFCでも審査され最終的にBBFCレーティングを受ける可能性もあります。この場合は、BBFCレーティングのみを表示します。				

AGCB/オーストラリア					
レーティング区分	 15歳未満は不適切。15歳未満は親または保護者の同伴が必要。(法的制限あり)	 成人向け推奨 (年齢指定なし)	 親の指導推奨 (年齢指定なし)	 一般的 (年齢指定なし)	

OFLC/ニュージーランド				
レーティング区分	<div><div><div><div><div>18</div><div>Restricted to persons 18 years and over</div></div><div><div>16</div><div>Restricted to persons 16 years and over</div></div></div><div><div>15</div><div>Restricted to persons 15 years and over</div></div><div><div>13</div><div>Restricted to persons 13 years and over</div></div></div><div>18歳未満、16歳未満、 15歳未満、13未満は不適切</div></div>	<div><div><div>M</div><div>Recommended for mature audiences</div></div></div> <div>成人向け推奨 (年齢指定なし)</div>	<div><div><div>PG</div><div>Parental guidance recommended</div></div></div> <div>親の指導推奨 (年齢指定なし)</div>	<div><div><div>G</div><div>General</div></div></div> <div>一般的 (年齢指定なし)</div>
その他	ニュージーランドの R13/R15/R16/R18は、ペアレンタルコントロール設定上、豪州の MA15+と同じレベルとして扱って問題ない。			

GRB/韓国				
レーティング区分	<div><div><div>18</div><div>청소년이용불가</div></div></div> <div>青少年利用不可</div>	<div><div><div>15</div><div>15세이용가</div></div></div> <div>15歳以上</div>	<div><div><div>12</div><div>12세이용가</div></div></div> <div>12歳以上</div>	<div><div><div>A</div><div>전체이용가</div></div></div> <div>全年齢</div>

### 3.3 ソフト別起動制限

基本的に TWL ソフトはレーティング値を取得しなければなりませんが、ゲームではないなどの理由でレーティングが取得できないソフトについては、任天堂との相談の上で起動制限の有無を決定します。起動制限をかけることになった場合、本体設定のペアレンタルコントロール登録・修正画面で、ソフト毎に起動制限をかけることが可能です。例えばフルブラウザは、レーティング値を取得しませんが、起動制限をかけることが可能なソフト、つまりソフト別起動制限機能をサポートするソフトになる予定です。ソフト別起動制限機能をサポートするソフトであれば、本体設定で、「**タイトル名**に起動制限をかけますか？」という選択肢が現われます。

ユーザーに、このソフトはソフト別起動制限に対応していると気づいてもらう方法については検討中です。

任天堂のタイトルについて、レーティングを取得すべきゲームなのか、非取得の非ゲームかどうかは総務部が判断しています。

#### 3.3.1 ソフト別起動制限をかけないソフト

ピクトチャットおよびダウンロードプレイはソフト別起動制限の対象ソフトからは外します。理由としては、「安全なユーザー間通信(5.2を参照)」機能のみを使ったソフトであるからです。

#### 3.3.2 ピクトチャット

TWL ピクトチャットは DS ピクトチャットと同じと考えてください。もちろん、TWL と DS の混在環境でもピクトチャットで遊ぶことが可能です。TWL ピクトチャットの新機能追加は現在検討中で、ペンの色を変えることができる(TWL からはペンの色を変えることも受信した色つき画像を表示することも可能。DS では画像表示のみ可能)、効果音を鳴らす(送ることができる(TWL からは送信も受信も可能。DS では受信のみ可能))、といった機能が検討されています。ただし、システムメニュー開発において、優先的に開発される機能ではありませんので、機能追加されるかどうかは未定です。

#### 3.3.3 ダウンロードプレイ

TWL のダウンロードプレイ機能は DS ダウンロードプレイ機能を移植したものです。

- (1) 内部の動作



内部の動作としては、ユーザーが TWL 本体でダウンロードプレイを起動した時点で、TWL は DS モードに入ります。DS モードに入ることによって、TWL 拡張機能が OFF になり、DS 本体と同機能の HW になります。つまり、ダウンロードプレイを起動した TWL 本体は、以降電源オフもしくはハードウェアリセットをかけるまで、ダウンロードプレイを起動した DS 本体と全く同じ動作をすることになります。受信することができるゲームのサイズも機能も完全に DS と同じです。

#### (2) ダウンロードされたゲームの扱い

ダウンロードできるゲームが完全に DS と同じなので、そのゲームは DS 専用ゲームとして扱います。『1.3 基本的な方針』にあるように、ダウンロード後のゲームに対してペアレンタルコントロール機能(ここではレーティング起動制限)は効かないことに注意して下さい。例えば、親機側のゲームが TWL 専用ソフトであり、レーティング値が ESRB での M (17 歳以上)であり、子機となる TWL 本体が ESRB での E10+ (10 歳以上)でレーティング起動制限をかけていたとしても、ダウンロードプログラム自体は DS 専用であるので、子機側でゲームが起動することになります。これは問題ではありますが、この場合、親機側でゲームを配信するユーザーのモラルに期待して、子供に対して過激なゲームを配信しないように気をつけてもらうしかありません。ペアレンタルコントロール機能で防ぐことができない同様のケースを以下に挙げます。

- ESRB での M (17 歳以上)レーティングの DS 専用ゲームを、年上の友人・親戚から借りて、DS 本体もしくは TWL 本体で遊ぶ
- ESRB での M (17 歳以上)レーティングの TWL 専用ゲームとペアレンタルコントロール機能のかかっていない TWL 本体を、セットで年上の友人・親戚から借りて遊ぶ

#### (3) ユーザーへの説明

内部処理としては TWL が DS モードに入っており、ダウンロードされるゲームが DS 専用ゲームではありますが、ユーザーの視点から見ると、「TWL 本体でダウンロードして、ダウンロードしたゲームを TWL 本体で遊んでいる」ことから、ダウンロードプレイについてもレーティング起動制限がかかって当然と思われるかもしれません。そこで、

- DS ゲームカードでの DS 専用ソフトにはレーティング起動制限がかからない
- ダウンロードプレイで遊ぶ全てのソフトにはレーティング起動制限がかからない

ことは説明書のペアレンタルコントロールの節でわかりやすく記載することなどで、十分に説明する必要があります。

#### (4) 機能変更の開発コスト

ダウンロードプレイの機能の拡張についてはそれだけで数ヶ月単位という非常に大きな開発・検証作業が発生しますので、ここまでに述べた、「TWL ダウンロードプレイ機能は DS ダウンロードプレイ機能を移植したものである」という前提をくつがえすような機能拡張はしないという方針でご理解ください。

## 3.4 設定方法

レーティング起動制限、ソフト別起動制限のどちらも、本体設定のペアレンタルコントロール設定で設定可能です。レーティング起動制限であれば Wii と同様の方式で、起動可能なレーティング値をアイコン(レーティングマーク)から選択することになります。ソフト別起動制限については、制限可能なソフトのタイトル名が、ペアレンタルコントロール設定で表示されるので(リストアップが1つずつかは未定)、保護者は起動制限をかけたいタイトルに対して、個別に設定することになります。

## 4 TWLショッピングソフト

基本的に、お知らせ表示の内容を除いて、全て Wii でのペアレンタルコントロール方針と同じです。

### 4.1 ポイント購入

Wii 同様、ポイント購入についての制限はかけません。子供がどこからかお金を調達して Wii ポイントカードを購入することと、どこからかクレジットカードを調達して Wii ポイントカードを購入することは同じだろうと判断しました。ポイント購入ではなく使用を制限することで、本体機能をシンプルに保ちつつ、ポイントの購入だけでは意味がないという運用にしたいと考えています。

### 4.2 ポイント使用

保護者はポイント使用を制限することが可能です。ポイントの使用が制限されるだけであるため、無償ソフト(0ポイントで購入可能なソフト)はダウンロード可能です。

制限されている状態で有料ソフトを購入しようとした場合、保護者が暗証番号を入力することで、ポイント使用制限を一時的に解除することができ、購入することが可能です。

### 4.3 ソフトの表示と販売

日本および米国のショッピングソフトでは、TWL 本体のレーティング設定に関係なく、ユーザーは全てのソフトのタイトルを見ることができます。ただし、本体設定レーティングと比較して不適切なレーティング値のソフトの購入はできません。つまり、見えるけれども買えない、という状態です。例えば本体のレーティング起動制限が ESRB の E10+(10 歳以上)に設定されている場合、M(17 歳以上)のゲームがどんなタイトルで何ポイントで販売されているかはわかりますが、購入しようすると、購入制限がされていることが表示されます。購入制限されている場合、保護者が暗証番号を入力することで、レーティング設定による制限を一時的に解除することができ、購入することが可能です。

欧州およびオーストラリアのショッピングソフトでは、TWL 本体のレーティング設定に応じて、レーティングのフィルタリングがかけられた上で販売コンテンツがリストアップされます。つまり、見えないし買えない、という状態です。そのため保護者であっても、暗証番号を入力する機会もなく、購入することはできません。購入したい場合は、本体設定でペアレンタルコントロール設定を解除するか、レーティング設定を変更してから、ソフトを購入しなければなりません。

韓国については後日確認します。中国でショッピングソフトが提供される予定はありません。

### 4.4 お知らせ表示

ショッピングソフト起動後はじめに表示されるページ(以降、お知らせページと呼びます)には、様々な任天堂からのお知らせが表示されます。

Wii では、ショッピング ch で販売する新作ソフトやソフト更新情報が、本体のレーティング設定に依存せず、全ユーザーに対して同じ内容のソフト情報が掲載されています。

TWLでも、ショッピングソフトで販売するソフト情報を掲載します。それに加え、TWLでは本体の不具合情報など、WiiであればWii伝言板で任天堂より配信しているような情報も掲載します。つまりTWLでは、ソフト情報、任天堂からの重

要な情報、の 2 種類が掲載されることになります。ソフト情報については、Wii同様、レーティング設定別に異なるページを用意することはしません。任天堂からの重要な情報も、閲覧する年齢を制限するような情報は載せませんので、レーティングによる制限はありません。このTWLショッピングソフトのお知らせページに、任天堂からの重要な情報が掲載されたときには、ユーザーがそれを知る機会を増やすため、本体内蔵機能であるお知らせフラグ機能が使われます。お知らせフラグについては、第6章を参照してください。

ソフト情報の表示については、レーティングによる制限はかけませんが、ソフト画面のスクリーンショットを表示するのであれば、地域によっては同時に(ESRB 地域)レーティングマークの表示が必要です。

## 5 ユーザー間通信

### 5.1 ユーザー間通信とは

---

ローカル通信 (MP 通信) を使ったマルチプレイ、すれ違い通信、インターネットを利用したマルチプレイなど、TWL ユーザー同士の無線通信を利用したサービス全般のことを、ユーザー間通信と呼びます。

### 5.2 安全なユーザー間通信

---

以下の条件を満たす無線通信のことを「安全なユーザー間通信」と定義します。

- 知り合い・友人との通信が前提である
- 近距離でお互いが遊ぶ、ローカル通信 (MP 通信) を使用している  
確認しようとすれば、すぐに相手を確認できる。相手の画面を覗き込むことも、物を手渡しできるような距離関係。

安全なユーザー間通信を利用してユーザーが行うことができることを以下に挙げます。

- マルチカートリッジによるマルチプレイ  
写真帳などの NAND アプリでも、各本体に別にインストールされていれば、マルチカートリッジとする。
- ダウンロードプレイを利用したマルチプレイ
- ピクトチャット

Wii では、ユーザー間のコミュニケーションが制限の対象になっていますが、あくまでインターネット (WiiConnect24 や WiFi Connection など) を介した通信の制限であり、同じ場所 (近距離) ・同じ TV 画面を使っのマルチプレイを制限しているわけではありません。上記の安全なユーザー間通信を利用した遊び方は、Wii における同じ場所 (近距離) ・同じ TV 画面を使っのマルチプレイに準じて、制限の対象外とします。

Wii ではさらに、Wii フレンド同士のメッセージ送受信も制限の対象としています。TWL では、安全なユーザー間通信であれば、マルチプレイでのゲーム操作キー入力データを送受信しても、ユーザー作成コンテンツなどのデータを送受信してもよいという仕様を考えています。写真データなどは SD カードやプリントアウトした写真として手渡しすることもできますし、ローカル通信で知り合いから受け取る TWL 間通信を制限したところで、ユーザーにとって不便になるだけで、子供の保護に役立つと判断しなかったためです。

### 5.3 制限可能なユーザー間通信

---

保護者が制限可能なユーザー間通信は以下の2つです。

- インターネットを介したユーザー同士の通信  
フレンドコード交換をした知り合い、マッチングサーバーを利用した他人との通信の両方
- ローカル通信を利用したすれ違い通信

制限がかかっている場合のそれぞれの挙動を説明します。

### 5.3.1 インターネットを介したユーザー同士の通信

---

制限されている場合でも、インターネットを介したユーザー同士の通信を行うソフトは他のソフトと変わりなく起動します。ゲーム内でインターネット接続を行うシーンまで進み、インターネット接続を開始する時点で、ペアレンタルコントロールによる接続制限がかかっていることがユーザーに表示されます。**表示される文言は任天堂指定の文言とするかどうか、指定の文言の場合はどうするかは検討中です。**

**また接続制限にたいして、保護者が暗証番号を入れることで制限を一時解除して、インターネットを介したユーザー同士の通信を行うことができるかどうかは検討中です。**

### 5.3.2 すれ違い通信

---

制限されている場合でも、すれ違い通信を行うソフトは他のソフトと変わりなく起動します。ゲーム内ですれ違い通信を開始するシーンまで進み、すれ違い通信を開始する時点で、ペアレンタルコントロールによる接続制限がかかっていることがユーザーに表示されます。**表示される文言は任天堂指定の文言とするかどうか、指定の文言の場合はどうするかは検討中です。**

**また接続制限にたいして、保護者が暗証番号を入れることで制限を一時解除して、インターネットを介したユーザー同士の通信を行うことができるかどうかは検討中です。**

## 6 ホットスポットソフト

### 6.1 ホットスポットソフト概要

---

TWL には、ホットスポットソフトと呼ばれる独自ブラウザが搭載されます。ここでは機能の概要を説明します。

ホットスポットソフトは無線接続先が限定された、独自ブラウザです。起動自体はいつでもどこでもできますが、接続可能な無線アクセスポイントは DS ステーションおよび任天堂スポット(仮称)( )に限られます。それらの場所に訪れることで、ユーザーはホットスポットソフトを利用したサービスを受けることができます。ユーザーが DS ステーションおよび任天堂スポットのサービスエリア内にいるかどうかは、ランチャーでホットスポットソフトが強調表示されているかどうかで判断可能です。(ランチャーは TWL 起動時にパッシブスキャンを行い、DS ステーションおよび任天堂スポットとの通信が可能な状態かどうかを自動検出します)

任天堂スポットとは、無線アクセスポイントと特別なニンテンドーDS が設置された、TWL および DS 向けのホットスポットです。今後、日本を皮切りに世界中に設置されることが検討されています。

ホットスポットソフトで受けることができるサービスは、体験版のダウンロードと店舗サービス(仮称)の2つです。

DS 向けホットスポットソフトも存在しますが、以下の点が TWL 向けホットスポットソフトと異なります。

- ブリインストールされていないため、DS ステーションおよび任天堂スポットにて、ダウンロードプレイ経由で取得する必要がある
- TWL 拡張機能を使った体験版はダウンロードできない
- ペアレンタルコントロール機能がない

### 6.2 体験版配信

---

ショッピングソフトと同じ方針で(NW 開発部が)実装を検討しているところです。すなわち、日本および米国では、本体レーティングに対して不適切なものでも、ユーザーはリストアップされたソフトがあることを見ることができる。ただし、実際にダウンロードしようとすると、制限されている旨の表示がされる。保護者による暗証番号入力で、レーティング起動制限の一時解除が可能。欧州およびオーストラリアでは、本体レーティングに対して不適切なソフトはフィルタリングされ、ユーザーは存在を確認することもできない。保護者が暗証番号を入力する対象もないので、本体設定でのペアレンタルコントロール機能を無効にするかレーティング設定を変更しないと、該当ソフトはダウンロードできない。

ちなみに現在、体験版はレーティング制限なしのソフトしか配信されていないそうです。意図的ではなく、配信ソフトとする良質なソフトが全年齢レーティングのものが多くからだと思われます。

### 6.3 店舗サービス(仮称)

---

店舗が独自に用意する html ベースの Web コンテンツです。任天堂スポットはファーストフード店やスーパーマーケットなど、何らかの店舗に置かれることが多くなる見込みです(他には駅なども検討されています)。店舗は任天堂スポットを設置する代わりに、商品や店舗の宣伝、割引クーポン画像の配布など、様々な独自 Web コンテンツを配信することが可能です。

どのようなコンテンツが用意されるか任天堂が管理できず、店舗が用意した Web コンテンツからさらに外部のサイトに訪れ Web サーフィンができるようになることも考えられるため、ホットスポットソフトの「店舗サービス」機能のみ、保護者による閲覧制限をかけることを可能とします。

## 7 お知らせフラグ

TWL には WiiConnect24 のような常時接続サービスがないため、本体更新がされたときや、本体不具合情報を通知したいときでもユーザーに確実に連絡する手段がありません。ユーザーが頻繁にショッピングソフトのお知らせページを閲覧してくれたり、本体更新されているかどうかをチェックすることは期待できないため、お知らせフラグが本体機能として搭載されます。

お知らせフラグは、本体更新や不具合情報通知などの情報が、ショッピングソフトのお知らせページに掲載されたことをユーザーに伝える機能です。お知らせフラグが更新されたら、ランチャー上でショッピングソフトが強調表示されることで、その旨をユーザーに通知し、ショッピングソフトの起動を促します。

お知らせフラグは、ユーザーが TWL でインターネット接続をする度に、更新されているかどうかチェックされます。フルブラウザ起動時、ホットスポットソフト起動時、インターネットを介したマルチプレイ開始時などが、更新タイミングになります。

子供を保護しなければならないような情報は、ショッピングソフトのお知らせページに掲載されないため、お知らせフラグ機能はペアレンタルコントロールの制限対象ではありません。



## 8 フルブラウザ

ソフト別起動制限とは別に、何らかのフィルタリング機能の搭載が検討されています。URL のホワイトリスト登録やブラックリスト登録をして閲覧の許可・禁止を扱うなどが考えられますが、現時点では何も決まっていません。ニンテンドーDS ブラウザーにおける i フィルターのように、外部の会社が提供するフィルタリングサービスを採用するかもしれません。

## 9 運用

基本的に、TWL も Wii と同じ運用で検討しています。以下に、Wii での運用をリストアップします。

- CERO のZ指定タイトルは VC ではあつかわない。(日本)
- ESRB の AO 指定タイトルはライセンスしない。(NOA)
- レーティング申請中(RP : rating pending)のゲームでデモやムービーを用意する場合には、取得見込みのレーティング値を利用する。
- レーティング申請中のゲームは販売できない。

## 10 秘密の質問の差し替え候補

### 10.1 家族情報

---

母親の旧姓は？	親の名前は？	兄弟姉妹の名前は？
あなたの祖父の名前は？	あなたの父親の本籍地は？	あなたの兄弟の職業は？

### 10.2 ペット

---

ペットの名前は？	あなたのペットの好物は？	あなたが初めて飼った動物は？
あなたのペットは？		

### 10.3 過去

---

出生地はどこ？	卒業した小学校の名前は？	出身校は？
卒業した学校のアイドルは？	恩師の名前は？	中学3年時の担任の名前は？
中学生の時の部活・クラブは？	子供時代のあだ名は？	子ども時代のヒーローは？
初恋の人の名前は？	初めて見た映画は？	最初買ったCDは？
よくドライブした場所は？	もっとも影響を受けた人の名前は？	

### 10.4 趣味 / 嗜好

---

好きな食べ物は？	好きなフルーツは？	麻婆豆腐といえばどの店？
嫌いな食べ物は？	嫌いな上司・同僚の名前は？	親友の名前は？
好きなスポーツは？	応援しているチームは？	好きなサッカー選手は？
一番好きな映画は？	好きな映画・本のタイトルは？	一番好きなアーティストは？
一番好きな演劇・劇団は？	一番親しい友人の名前は？	趣味は？
好きな車の車種は？	好きな色は？	好きな曲は？

### 10.5 願望

---

旅行に行きたい場所は？	行ってみたい国・都市は？	名前を変えたとしたら何？
無人島へ行くとしたら、誰と？	死ぬ前に最後に何を食べる？	